



小学部5・6年生の、物語読解が始まりました！

小学部5・6年生の英語活動で扱う本が配布されました。今年度は、5年生がL.キャロルの「不思議の国のアリス」、6年生がC.ディケンズの「オリバー・ツイスト」です。めあては、例年に引き続き、「I can read correctly. (正しく読めます。)” “I can explain the story.(話の説明ができます。)”の2つです。

それにしても、子供の脳の柔軟さには驚かされます。4月の時点で、本の最初の1語を読むのに苦戦していた子が、3学期に入る頃には、数ページにわたり音読できるようになります。しかも、CDのナレーターとそっくりのイントネーションです。1単語をノートに書くだけで、うんと時間がかかっていた子が、数ヶ月すると、時間内に複数の文をノートに写すことができます。今年度も、一人一枚、CDを配布しております。聴けば聴くほど力がつきます。ぜひ、ご自宅でどんどん聴いてください。できれば、口に出して真似してください。

クラシック文学の長文物語読解は、話の波に乗るまでが大変ですが、読み終えた時の感動と達成感はひとしお。卒業生達も、「長文物語だけは覚えています。」というほどです。この2冊も、子供達の“思い出の本”となり、「小学生の時、英語で読んだ！」という自信につながってくれることを願っています。

